

京都洛北友禅協同組合のブランドマークの開発

デザインチーム 松原 剛

要 旨

京都洛北友禅協同組合の認知性向上と製品のトレサビリティの観点から、商標組合ブランドマークのデザイン開発を行った。完成した組合ブランドマークは、商標登録され今後の組合活動で使用されるため、要請に応じて引き続き支援を継続する。

1. はじめに

京都洛北友禅協同組合は、1948年に広巾捺染を営む地元の有志で結成された京都洛北友禅振興会を前身とし、1958年に京都洛北友禅協同組合として組合を設立された。そして、数々の景気の波に翻弄されながらも現在まで代々伝統の染色技術を受け継いでいる。

昨今の繊維製品は、中国をはじめとする海外で生産された安価な輸入品が市場を席卷し、国産の繊維製品が埋没する状況にあり、京都洛北友禅協同組合傘下の企業が生産した染色製品の高品位性をアピールしなければならない状況にある。組合としては、この状況を打開するために組合の認知性向上と製品のトレサビリティの観点から組合ブランド商標を開発して発注元企業及び消費者に直接アピールすることになり、デザインチームに商標デザインについての相談があった。この経緯から京都洛北友禅協同組合商標としてのブランドマークのデザイン提案及び開発支援を行なった。

今回のケースの場合、組合のホームページや発行物、メディア等への告知も含めてトータル的な取り組みを行うことによって、より効果的な作用を及ぼすことにつながる旨を提言したが、まずは商標組合ブランドマークを作成し、商標登録してから徐々に前進する運びとなった。

2. デザイン提案

2.1 他産地マークの分析

組合ブランドマークのデザイン提案については、まず全国における繊維製品に関わる同様のケースを調査分析した。デザインの傾向を京都洛北友禅協同組合と協議し、検討を重ねた。

その結果、漢字一文字をモチーフにデザイン化された図案がもっとも多く、漢字自身が意味する情報量と視覚的なデザイン処理によって国内での流通を強く意識して

いると思われる。海外をも視野に入れた場合は、より図形としての視認性を高めたシンプルなレイアウトの状態で使用される傾向であることがわかった。



図1 同様の他産地ブランドマーク

2.2 組合ブランドマークの提案

ヒアリングでは、洛北の豊かな自然環境のもとで、多様な染色技術を用いて実直に仕事をしているイメージを表現して欲しいという組合員の組合ブランドマークに対する想いを考慮した上でテイストの違うA～Cの基本デザインを作成した。(図2)

A案は他産地マークの調査結果から漢字をモチーフに染色に賭ける想いをデザイン化したもの、B案は広巾捺染の道具から多色染である特徴をデザイン化したもの、C案は事業者が立地する地域の自然を画面構成してデザイン化したものである。そして、それぞれの案に対して商品タグとして使用するケースと、各社が個別に名刺等に組合ブランドマークを入れたレイアウト案を作成した。それぞれのコンセプトを京都洛北友禅協同組合に提

案しデザイン案と方向性を検討した。その中で A 案と C 案を合わせた D 案についても検討したが、最終的には可読性と汎用性を考慮して A 案をもって決定とした。



デザイン案	コンセプト
<p>A</p> 	<p>染に対する向上心を内に秘めて伝統を守り、殻を破り、成長する洛北友禪のイメージを“守（基本）・破（応用）・離（創造）”の精神になぞらえて表現した</p>
<p>B</p> 	<p>スクリーン版をモチーフに、多彩な染色技術の積み重ねの上に洛北友禪が作られているイメージ</p>
<p>C</p> 	<p>山は日の光の中で紫にかすみ、川は澄みきって清浄で美しい京都洛北の地で、多彩な染色技術を用いて洛北友禪の未来を明るく開いて行くイメージ</p>
<p>D</p> 	<p>ABC 案を提案後、組合員から洛北友禪が多色を使うことを盛り込むため A 案のデザインに C 案の色彩で表現した案も確認したいとのリクエストがあり再度作成したデザイン</p>

図2 提案した組合ブランドマーク

3. 組合ブランドマークの決定

デザインの方向性を A 案で決定した後は、フォントを調整し、モノクロ時の使用状態などチェックして最終のブランドマークデザインを確定した (図3)。実際に名刺や封筒にする場合のレイアウト案も併せて提案しており、正式に京都洛北友禪協同組合の組合ブランドマーク商標として採用され、組合として特許庁へ商標登録申請がされ、登録査定された (図4)。これにより、まずは商標タグ (図5) として流通から認知度向上に向け、現在使用されている。

今後は、京都洛北友禪協同組合が取り組むプロモーション活動の支援を含め商標の有効活用について、勉強会の開催などのデザイン支援に引き続き取り組んで行く。



京都
洛北友禪
Kyoto High Quality Printed Fabric

図3 決定した組合ブランドマーク



図4 商標登録証



図5 使用される商標タグ